



▲村長より福原選手へ記念品の大島紬を贈呈しました

2 おかえり 愛ちゃん！ 村民とのふれあいイベントを開催

2016年のリオデジャネイロ五輪で卓球女子団体に銅メダルを獲得した福原愛選手を招待し、平成29年7月3日（月）、元気の出る館にて村民との交流イベントを開催しました。約200名の村民が集まり、ジャンケン大会や母親の福原千代さんと卓球対決をして交流しました。来村直前に妊娠を発表した福原選手は「皆さんにメダルを見せることができてほっとしています。元気な赤ちゃんを産んで、家族で宇検村に遊びに来たい」と笑顔で話しました。



▲優勝報告（ゲートボール競技選手団の皆さん）

3 第71回県民体育大会 ・第58回大島地区大会

第71回県民体育大会・第58回大島地区大会が7月14、15、16日の日程で開催され、宇検村では村総合体育館にてバレーボール競技がありました。地元宇検村チームは、奄美市笠利、徳之島と対戦。会場に駆け付けた多くの村民の声援を受けながら、初戦に臨んだ宇検村チーム。スパイクやブロックで見せ場を作るも流れに乗り切れず、惜しくも予選敗退となりました。和泊町で行われたゲートボール競技は、惜しくも3連覇を逃した昨年の雪辱を果たし、見事優勝を勝ち取りました。

5 100周年記念 ゴルフ大会を開催



▲開催前に参加者で記念撮影

7月1日（土）、奄美カントリークラブにて村制施行100周年記念ゴルフ大会が開催されました。ゴルフ愛好者ら62名が参加。澄み切った青空の下、さわやかな汗を流しながら、スコアを競いました。優勝に輝いたのは、上野政弘さん。終了後には、懇親会が行われ、村制100周年を共に喜びながら親睦を深めました。

4 生勝集落 子どもたちと七夕飾り



▲みんなで作った七夕飾りの前でピース

生勝集落では、今年度より子どものいる世帯が2世帯に増え、集落民全員で喜んでいきます。子ども達との交流を図ろうと7月5日（水）に七夕飾りを作り、公民館前に飾りました。参加した宝楽這子さんは、「子ども達と触れ合うことができるととてもうれしく、元気になれる。今後も、様々な活動をして子ども達と触れ合っていきたい」と話しました。



▲優勝した崎原青壮年チーム



大会結果

【一般の部】	【女子・子ども会の部】
1位 崎原青壮年団チーム	1位 崎原婦人会チーム
2位 平田老人チーム	2位 名柄Aチーム
3位 芦検チーム	3位 崎原子ども会チーム
4位 須古青壮年団チーム	4位 名柄Bチーム

1 100周年記念宇検村舟漕ぎ競争 チャレンジ！奄美No.1！

毎年、奄美市で開催されている奄美祭りの舟漕ぎ大会へ宇検村代表チームとして出場し、村制施行100周年を村内外にPRしようと、6月25日（日）に予選大会を湯湾港で開催しました。一般の部に10チーム、女子・子ども会の部に7チームが参加。会場は選手や応援する方々が多数集まり、どんと祭りさながらの盛り上がり。レースは練習を重ねて臨んだ崎原チームが予選から力を発揮し、見事優勝に輝きました。



奄美祭り舟漕ぎ大会 宇検村代表チームとして 健闘！！



▲レース後、笑顔で記念撮影する選手たち

予選大会で優勝した崎原青壮年団、崎原婦人会の両チームは、8月11日（金）奄美市名瀬で行われた第54回奄美祭り舟漕ぎ大会に宇検村代表チームとして出場。村内から貸し切りバスで駆けつけた大勢の応援団の声援を受け、見事予選を突破。男子は準々決勝、女子は準決勝に進出し健闘を見せました。目的であった村制施行100周年を大いにアピールするとともに、練習の成果を十分に押し切った結果に、選手も応援団も全員が満足した様子でした。



▲力を振り絞り、一生懸命かいを漕ぐ両チーム





▲参加した全員で記念撮影

10 七ヶ宿町児童交流事業 シマツ子体験学習で交流

例年、合同で開催されている七ヶ宿町児童交流事業とシマツ子体験学習が8月9日(水)、タエン浜で行われました。シマツ子体験学習については、これまで村内の小学4年生以上が対象でしたが、8月8日から3泊4日の日程で本村を訪れていた七ヶ宿町の6年生(6名)と深い交流ができるように、今回から村内の小学6年生(9名)を対象にしました。台風5号の影響が残る中でしたが、シーカヤックやSUP(スタンドアップパドルサーフィン)、シュノーケリングなどのマリンスポーツを楽しみながら、交流を深めました。七ヶ宿小学校の6名は、きれいな海にとっても驚いた様子。奄美の夏を初体験した6名は、このほかにも、Tシャツの泥染め体験やマングローブ林でのシーカヤック、夜光貝のアクセサリー作りなどを楽しみました。



▲大人気だったSUP。飛び込みも迫力満点!!



▲様々な体験をした七ヶ宿小学校6年生のみんな



▲ベスト8の活躍を見せた朝日・田検中バレー部

11 朝日・田検中バレーボール部 九州大会でベスト8の活躍!

第50回九州中学校バレーボール競技大会が8月7日(月)、鹿児島市の吉田文化体育センターでありました。鹿児島県代表として出場した朝日・田検中は、準々決勝まで進みましたが、串間(宮崎)に敗れ、ベスト8。大会は2日間予定していましたが、台風5号の影響で、1日に短縮。準決勝と決勝は行わず、準々決勝の勝者4チームを同時優勝としました。全国大会への出場枠は5つ。朝日・田検中は、残り1枠をかけて抽選に望みましたが、引き当てることはできず、全国大会出場を惜しくも逃しました。



▲祝賀会の様子。出版された2冊の表紙(上)

6 「渡武彦伝」「復刻親がなしめしま」 出版記念祝賀会

田検集落出身で、戦後、1級建築士として多くの公共施設を手掛け、奄美群島の復興に尽力した故渡武彦さんの生き方を記した「渡武彦伝」(高元厚憲著)と「復刻親がなしめしま」の出版を記念し、7月8日(土)元気の出る館で出版祝賀会がありました。村内関係者や田検集落の住民など約80名が参加。会の冒頭に故渡武彦さんの功績や歩みをまとめたビデオを上映。その他、開運太鼓などが披露され、参加者全員で盛大に出版を祝いました。



▲手を合わせる金江安浩さん(上)

7 ルーツを訪ねて来村 山口県より金江安浩さん

宇検村の前身である宇検方の3代目戸長(現在の村長)を務めた人物、鼎宮昌禧さん(1854~1931)の孫にあたる金江安浩さん(82歳)が山口県より、8月14日親族と共に7人で来村。名柄集落にある現存するお墓を初めて訪れ、花や線香を供えて先祖を供養しました。長年、自分のルーツを調査していた金江さんは、瀬戸内町教育委員会の学芸員である鼎丈太郎さんの研究資料にたどり着き、両家は遠縁であることが判明。今回、鼎さんも同行し、今回の来村が実現。金江さんは「長年の思いがけない感無量。村の人たちへの感謝は言い尽くせない」と話しました。

9 花いっぱいへ美化活動に 取り組んでいます



▲作業に励む皆さんの様子

湯湾集落のボランティアグループ約10名が毎月2回ほど集まり、ケンムン公園や橋前の花壇の手入れを行い、美化活動取り組んでいます。活動の発起人で、積極的に活動している前島すみ子さんは「集落の入口に花があると、みんな気持ちがいい。各集落にも広がっていけばうれしい」と話していました。

8 郵便局と地域における 協力に関する協定を締結



▲協定書を交わす東局長と元田村長

6月23日(金)、宇検村役場は村内の郵便局と地域における協力に関する協定を結びました。この協定は、住民が安心して暮らせる地域社会づくりに資することが目的。郵便局の職員が、住民等の何らかの異変に気付いた場合や道路の異常を発見した場合など情報を宇検村役場へ提供し、協力を図る内容です。

